

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1．実施した計画の基本的な事項

（1）基礎情報

ア．対象地域

構成市町村等名	青森市						
地域内総人口（人）	257, 058						
地域総面積（km ² ）	824. 61						
地域の要件	人口	面積	豪雪				
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ．計画実施期間

開始年月日	令和7年4月1日
終了年月日	令和8年3月31日
計画期間	1年

（2）対象地域における取組みに関する事項

ア．ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の 広域化・集約化計画の名称		

イ．プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ．対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ．対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和7年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和5年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	195,507人	73.8%	187,994人	73.0%	190,889人	80.9%
	農業集落排水施設等	5,424人	2.1%	5,004人	1.9%	5,432人	2.3%
	合併処理浄化槽等	10,537人	4.0%	16,246人	6.3%	8,752人	3.7%
	小計：汚水衛生処理人口	211,468人	79.8%	209,244人	81.2%	205,073人	86.9%
	単独処理浄化槽等	37,251人	14.1%	32,515人	12.6%	18,183人	7.7%
	非水洗化人口	16,354人	6.2%	15,931人	6.2%	12,766人	5.4%
	小計：未処理人口	53,605人	20.2%	48,446人	18.8%	30,949人	13.1%
	合計：総人口	265,073人	100.0%	257,690人	100.0%	236,022人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	11,177キロリットル		-		10,773キロリットル	
	浄化槽汚泥量	47,922キロリットル		-		46,686キロリットル	
	合計	59,099キロリットル		キロリットル		57,459キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	浄化槽設置整備事業により生活環境の改善及び公衆衛生の向上を目的とし、浄化槽を設置する者に補助金を交付する。

4 目標の達成状況に関する評価

合併処理浄化槽人口は目標値を下回ったものの、単独処理浄化槽及び非水洗化人口の減少により未処理人口は目標を上回る削減が図られ、汚水衛生処理率も向上したことから、生活排水対策全体としては概ね計画どおり進捗したものと評価する。

(都道府県知事の所見)
浄化槽設置基数及び合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口は目標を達成できなかったものの、汚水処理人口普及率は目標を達成しており、未処理の汚水処理人口の解消について、一定の進捗があったと評価できる。
今後も浄化槽設置整備事業を着実に実施し、計画的・効率的に浄化槽の普及を進めるとともに、生活環境の保全に係る啓発等の取組を進め、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことが重要と考える。

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。